

◆自然観察会に参加して

6月4日(日)に恒例の「自然観察会」があった。今年は「萩の里自然公園」で比較的近場でバスで1時間ぐらいで着いた。当日は雨が降っていたが、さほどひどくはなかったので歩くのに支障はなかった。着いてからセンターハウスまで森の道の周辺に草花も色々咲いていて、それらを観ながら、小鳥のさえずりも聴きながら歩いた。私にとって名前の知らない草花もあって知っている人に聞いたりしてわかったり、それらの花にまつわる話など、話題が広がって、楽しく歩いた。森の中なので雨がそれほど気にならず歩いてセンターハウスに着いた。センター内には、この自然公園に関する展示物があり、テレビではビデオでこの公園にある植物をとでもわかりやすく、小さな花も拡大され数多くの花が紹介されていた。この「萩の里自然公園」を造成したり、維持管理して活動している人々が紹介され、私たちと同様に日々活動していることで維持されていることを知った。



萩の里自然公園センターハウス

昼食後、バスでオロフレ峠に行き「シラネアオイ」を観に行く。険しいところを登って言ったら、まだ



シラネアオイ

シラネアオイがたくさん咲いていてカメラに収めたりした。オロフレ峠では下界は霧で真っ白で何も見えなかったもので、今度天気の良い日に来てみたいと思った。その後帰路についた。天気は良くなかったが、雨に濡れた草花もしつとりとおもむきがあってこれもまた良かったのではないかと思った。次回(来年)の観察会が楽しみです。(横田久美子)

萩の里自然公園

白老町字萩野に位置するこの公園は、明治時代から炭焼きが盛んに行われており炭窯跡も20か所ほどあります。比較的町場に近く山もあまり高くなかったこともあって、女子供がよく山菜取りにも入山していた。このように人々が多く入ることで徐々に手入れされ、散策を楽しむ人が増えて公園化された。カナダ国ケネル市と姉妹都市の白老町は自然の大切さを学ぶ研修の場として、ケネル市から寄贈された丸太をベースにセンターハウスを建設し、『ケネルハウス』と命名した。(浜部大助)

